

第16回 第5分科会会議録（概要）		場 所	新宿区役所 第一分庁舎 7階研修室
日 時	平成18年2月3日 午後7時00分～午後9時20分	記録者	【学生補助員】 渡辺・久保田
		責任者	区事務局（松浦・池田）
会議出席者：19名 （区民委員：12名 学識委員：2名 区職員：5名）			
■配付資料 ① 第15回会議録 ② 第5分科会としての提案（中間報告） ③ 中間のまとめ用作業シート ④ 区民委員作成資料（2種類） ⑤ 小学生フォーラム・中学生フォーラムからの意見 ⑥ 参考資料（新聞記事）			
■進行内容 1 はじめに 2 リーダー・サブリーダーからの報告 3 学識委員より 4 グループワーク 5 まとめ 6 事務連絡			
■会議内容 【発言者】●：区民委員、◎：学識委員、○：区職員			
1 はじめに ○： 配付資料の確認（6点） 本日の配付資料の中で、「第5分科会としての提案（中間報告）」は、後程、リーダー・サブリーダーからご説明いただきますが、1月31日の自主グループワーク等でリーダー・サブリーダーを含めた数名の方で検討いただきました。本日は素案という形で皆様にして検討いただくたたき台としてお示ししています。「中間のまとめ用作業シート」は12月5日と12月15日の分科会でランドデザインへの視点をポストイットに書いて、模造紙に貼ったものと前回の分科会でご意見いただいたものを事務局でまとめたものです。「区民委員作成資料」は区民委員2名がそれぞれ			

たたき台として作ってくださった資料です。「小学生フォーラム・中学生フォーラムからの意見」は、新宿区では毎年小学生と中学生の各学校から代表者を集め、区長の前で意見を述べてもらうという小学生フォーラム・中学生フォーラムというものを実施しています。今回は大人の方たちが区民会議で将来の新宿像として基本構想、基本計画について話し合っているのと同様に10年後20年後のことについて、子供の意見も聞きたいということで子供たちに自分の住んでいるまちについて、いろいろ意見をいただきました。今後の検討の参考にさせていただきたいと思います。「参考資料（新聞記事）」は廣江先生からの情報提供です。

本日の進め方ですが、この後、リーダー・サブリーダーから、これまでの検討の経過、本日の進め方、2月19日の中間発表会での役割分担についてお話いただきたいと思います。本日、役割分担については決定したいと思います。その後、廣江先生からお話いただきます。そして、グループワークで中間発表会へ向けて、素案をまとめていただきます。

ではリーダー・サブリーダーの方、お願いします。

2 リーダー・サブリーダーからの報告

- ： 配付資料の中で「第5分科会としての提案（中間報告）」がありますが、これを作るために自主グループワークをしてきました。そのグループワークに出られた方もいらっしゃると思いますが、今の時点では中間発表に向けてどういうことをやってきたかということをもとめていきました。本日は具体的な中身の検討とプレゼンテーションの仕方と役割分担について、話し合いたいと思います。先に結論から申しませんが、新宿区の特質はどんなものがあるかキーワードをつかみ出してみますと新宿区は伝統も深いものがございまして、同時に最もコンテンポラリーな要素もあるということで、伝統と創造というテーマをつかみ出してみました。この分科会の役割として、産業、文化・観光ということに絞って話し合ってきたわけですが、この三本柱の要をきちんと押さえていこうという意図で、図で表すと、産業、文化があって、それらを囲むように観光、言葉を変えていえば、にぎわいになるかと思います。これらは私たちが話し合ってきたひとつの結論なのですが、産業の中でも伝統産業のようなものは文化に寄った位置にあり、同じように文化も産業寄りのものがありますので、境界領域で交差した部分があるわけで、そして、その産業と文化が強ければおのずからそのまちあるいは区域には人が集まってくるだろう。したがって文化あるいは産業を主軸にした観光は成り立つだろうということで、従来の観光というものとは少々違いますが新しい観光の概念として今までの名所、旧跡、社寺、仏閣とは違うものをここで提案していけるでしょう。ここまでが考え方の大枠でございます。それから「中間のまとめ用作業シート」ですが、この表の上段に4つの区

分「どうしたいのか」、「問題点・現状」、「解決方法」、「区民にとってどのようなよいことがあるのか」というのを図に当てはめてみようということで作業しました。どうしたいのかということはここにありますように商業の活性化、伝統産業の継承、文化の活性化、観光の活性化とそれらの共通のものとなっております。ここでは、それぞれが活性化したり継承したりということなので誰もが考えるごく当たり前のことですが、それぞれがどういう現状になっているかということについては「中間のまとめ用作業シート」でいろいろと皆さんが出された問題点・現状というものをこれから踏まえていきましょう。それからどうしたいのかというイメージがあって、今どうなっているのかという現状を考えながら、解決方法を具体的に導き出していく。それぞれ個別に書いてありますように、例えば、マイスター制度というのは考えられないかとか、商業組合による研修コンサルタントの活用は出来ないかといったいろいろの事が解決方法や方向性として導き出せるのではないかと思います。それでこういう解決方法の具体的なアイテムをどういう風にしたら新宿区民にとってよい結果をもたらすだろうかという最終目標に向けていきますけれど、そこへの大きな仕掛けとして情報発信の様々な仕方というものが媒介になるのではないかと。これが成功するとすればその解決方法も区民全体の共通認識になっていって、新宿の近未来は明るくなるでしょうというようなまとめ方で提案することになります。第5分科会としての提案（中間報告）として、配付資料に書いてあるものを検討していただきたいと思います。今まで話し合ってきたことをだいたい含めたつもりですが、落ちていないものはないか、あるいは現時点で付け加えるものはないかということを検討していただいて、最終的に、よろしければ、文章化するところは文章化し、パワーポイントを作成し、プレゼンテーションをする作品にまとめていきたいと思っております。それから、2月19日の中間発表会にぜひ大勢の方に参加していただいた上で、それぞれ大事な役割がございますので本日、具体的にその役割について、決めさせていただきたいと思いますので、どうかよろしく願いいたします。

- ： ありがとうございます、内容については、後程のグループワークでご意見いただきたいと思います。2月19日の役割分担について決めさせていただきたいと思います。サブリーダーの方をお願いします。
- ： 2月19日までに分科会は2月16日の一回しかありません。2月16日は発表のための最終リハーサルになります。本日、役割について、おおた決めておきたいと思っております。2月19日の中間発表会にぜひ大勢の方に参加していただいて、皆さんで協力していきたいと思っております。
- ： 区民交流会でのブース担当は、ローテーションを組んで行いたいと思っております。そうしないと他の分科会のブースに話を聞きにいけないので、なるべく多くの方に参加していただき、3～4人を一班として、交代で対応したいと思っております。
- ： ブース担当について補足ですが、分科会同士の交流という目的で他の分科会の方々

や一般の区民の方が意見、質問などに来ると思います。その際に、簡単な記録を取っていただきます。当日は、ローテーションを組んだりして、一人の負担を減らしながら対応していきたいと思いますので、ご協力よろしくお願いします。

(役割分担決定 発表者1名、パワーポイント操作者1名、受付2名、残りの人は区民交流会でのブース担当を行う)

○： ありがとうございます。それではグループワークの前に廣江先生からお話いただきたいと思います。

3 学識委員より

◎： 寒い中ご苦労様です。

今日配られた資料の「小学生フォーラム・中学生フォーラムからの意見」を見てみますと、私は西戸山小学校、西戸山中学校の卒業生なので、どんなこと言っているのか見てみたのですが、どうもここで発言している生徒は新大久保近辺の生徒さんのようでそのあたりの地域の特性が表れていると思いました。もう少し高田馬場に近くと違うことを言うと思うのですが、そういう学校単位くらいでもだいぶ特色があると思います。私が小学生中学生の頃は公務員が3分の1、私のような親がサラリーマン、勤労者が3分の1、あとは、そこが特色であったのですが、地域の商業者工業者が3分の1でした。地域がそういうふうになっていたのちょうど良かったと思うのですが、今はだいぶ変わっただろうなと思います。そういう大きな変化がある中でまだまだこれから10年20年経っていく中で大きく変化していくだろうし、100年経つと人口がいなくなるまちも出てきますので、本腰を入れてどうするかが重要になってくるわけです。その辺りのことを考えていろいろ検討もしていったのですが、たまたまわかりやすい、面白い新聞記事がありましたので、コピーしてきました。最初の図書館については、「進化する図書館」ということで、この分科会でも議論してきています。かなりそういうふうに進んでいるということがわかりました。このように世の中がなっているのですね。もっと加速化していくと思います。本があるところを図書館と言うわけではない。情報があるところを図書館と言うようになってきている。その意味では、皆さんの認識もかなり進んでいると思います。では、新宿という大都市の中でどうするかというところを、より出していただければよいと思います。もう1枚の安藤忠雄さんの記事ですが、私が非常に嫌いな建築家でしたけども、なぜ嫌いかということ、コンクリートであれだけ固めてきた人と思っていたのですが、やはり神戸の震災でお考えが変わったようです。それから自然というのをだいぶ言い始めてきて、文章のなかでも都市づくりについて発言されていて、経済効率を最優先にした世界でも不思議な都市をつくり出したと言っています。経済効率を最優先にするというのは普通、

当たり前の考え方ですが、経済効率を短期的に考えるのか、中期的に考えるのか、長期的に考えるのかでだいぶ違うと思います。今、一斉に歩道橋を壊したりしています。つまり、世の中の仕組みごと変わっていく。本来そういうものを予測しながら都市計画をやっていかなければいけなかったのですが、そこはちょっと日本の場合には急ぎすぎたのかなという感じがします。では、特色があって、各地域それぞれ特性をもっている新宿区ではこれからどうなるのか。ここでは都市計画を考えるとところではありませんけども、都市計画的に道路がどうできるのだとか、街区がどう整備されるのかということが暮らしや産業にすごく関わってきます。そういう視点からも考える必要があるかと思います。安藤さんが非常に大転換してこういう考えをお持ちになったのだと私はすごく関心をもって記事を読みました。だいぶ報道もされておりますけども、同潤会青山アパートの再生の問題で地権者との大騒動もあったようで、その辺りもすごく関心があります。

第5分科会としての話ですが、中間報告に向けての提案だから、最終的な提案ではなくて、こういうふうに議論していて、ここまでまとまっていますということですよ。その中でいろいろ埋めていく必要もあるかと思いますが、差しあたりはどういうことを議論してきて、どこが整理できているかということをお求めいただければいいのではと私は思っております。伝統と創造ということですけども、私は伝統ということは、観光にもつながりますし、文化でもあるのですが、どういうふうにもまちの記憶を呼び起していくのか。それを未来につなげていくのか。その未来につなげていく作業の一部が産業という役割が大きいと思います。ここでは商業と伝統産業の継承でしか挙げられていなくて、作業用シートの中で、ITだってあるだろう、でもまだわからないという話もありました。新宿には多くの産業を抱えています。そういうものがこれからどう変わっていくのかということがあります。まだ、中間のまとめということで今後の課題かもしれません、いろいろあるという中で、今回はこういうことですのでこのをまとめていただければ結構です。以上です。

○： ありがとうございます。それでは本日もグループワークで中間のまとめの素案づくりを進めてまいります。よろしく申し上げます。

4 グループワーク

「第5分科会としての提案（中間報告）について、意見交換、調整を行う」

◎： このシートでの共通という項目は、問題点や現状を見ると共通しているけれど、少し進んで解決方法や方向性を考えた場合は、産業、文化、観光のいずれかにあてはまるのではないかと視点が変わってきます。そういうふうに振り分けしていけば良い。あくまで最初の作業で共通だったかもしれないけど、考えていけば違うところ

に入ります。そういうところは柔軟にお考えになってよろしいかと思います。そういうふうな考え方を深めていければいいかと思います。

◎： 議論の中でNEW新宿ブランドという言葉がでていますが、私はブランドという言葉はあまり使いません。商品ブランドなのか、地域ブランドなのか、何ブランドなのかわからないので。これは伝統と創業をNEWブランドにしようということなのかもしれない。むしろ私だったら「新宿の新しい姿」のようなもっと簡単な言葉で構わないと思うのですね。あまり英語を使うのは好きじゃないですから。柔らかく言えばいいだろうと思います。「新宿の新しい姿」の中に何を出すかというときにずっと江戸の粋というものがいきているとすればそれをもう一度蘇らせるのもいいですよという話があると思うのです。新宿らしさを考える動機づけでは、「新宿の新しい姿」という表現で良いと思います。

◎： 僕は表現という部分では、NEW新宿ブランドという言葉のコンセプトだと思うのです。これを土台にしてどういう言葉を貼り付けていくか。皆さんがしっくりする言葉をつけるということで、ここで伝統と創造という言葉もあると思いますし、粋という言葉もあると思いますし、それは最後の味付けというか皆さんが納得する落としどころで、まさに皆さんが先ほどやっていた、「これは入れるのか入れないのか」ですよ。僕が一番いいなと思ったのは「共通」という項目はやっぱ曖昧だからなくして、先程の議論にあったように産業、文化、観光のいずれかに入れていこうという事です。そういう骨格となるところが、終わった後にどういう表現をしていけばいいかという話だと思うので、決めるか決めないかは別にして、仮決めとして「粋と創造」とかそういう言葉をつけておいて、最後は「新宿ブランド」として、第5分科会としては出したいのだというプレゼンテーションが出来れば、最後は細かい微調整の言葉尻の話になってくるのかという気がします。まさに、今までの皆さんの活動が発表に反映されるように、発表者がそれを汲んでどう表現するのが大切なかと思います。

情報については、廣江先生からもお話があったと思いますが消費する情報と発信する情報というものがあります。いままで広告代理店やテレビとかが消費する情報をやってきました。ですからタダですけどそこで買ってくれという話になるのです。嫌らしい言い方なのですが。そこに大きな経済的なものが動いていて、そういうスタイルというのはやはり20世紀型というのですか。21世紀型はもっと違ってくるのだろうなと。皆さんの知恵が知恵を呼んでいくというような発信型でそれを共有していく情報みたいなあり方が新しいというか、今後のあり方だと思います。まさに皆さんの活動していることがそういうことに近くだろうというふうに思うのですが、情報というのは一言で言うと簡単になってしまうんですが、いろいろな定義というのがありますので、一言、私からその話をさせていただきました。

●： 本日は話し合ったことを含めて、2月5日に素案づくり会議を行い、中間発表会に向けた内容を確定したいと思います。

2月16日の分科会は、最終リハーサルを行います。

5 まとめ

○： 廣江先生、橋本先生からまとめをお願いします。

◎： 情報がたくさんあることは必要なので、ないよりはいいのですが、たくさんあっても何だという話になります。際立つことが必要です。第5分科会としてはぜひ際立つことを出していきたい。

◎： 右に同じです。

6 事務連絡

○： ありがとうございました。

中間発表会に向けての原稿作成まとめをよろしくをお願いします。

* 次回の分科会について

- ・ 2月16日（木）新宿区役所第二分庁舎 1階1-⑦会議室（旧四谷第5小学校）

* 3月の分科会の日程について

- ・ 3月7日（火）午後7時～
- ・ 3月24日（金）午後7時～

場所は未定。決まり次第、連絡します。

以上